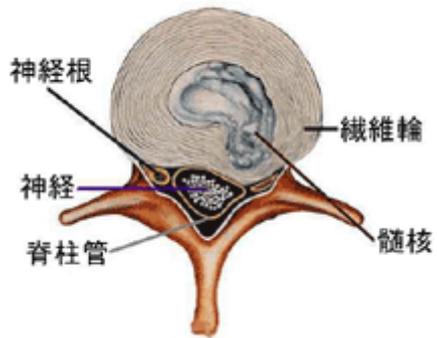
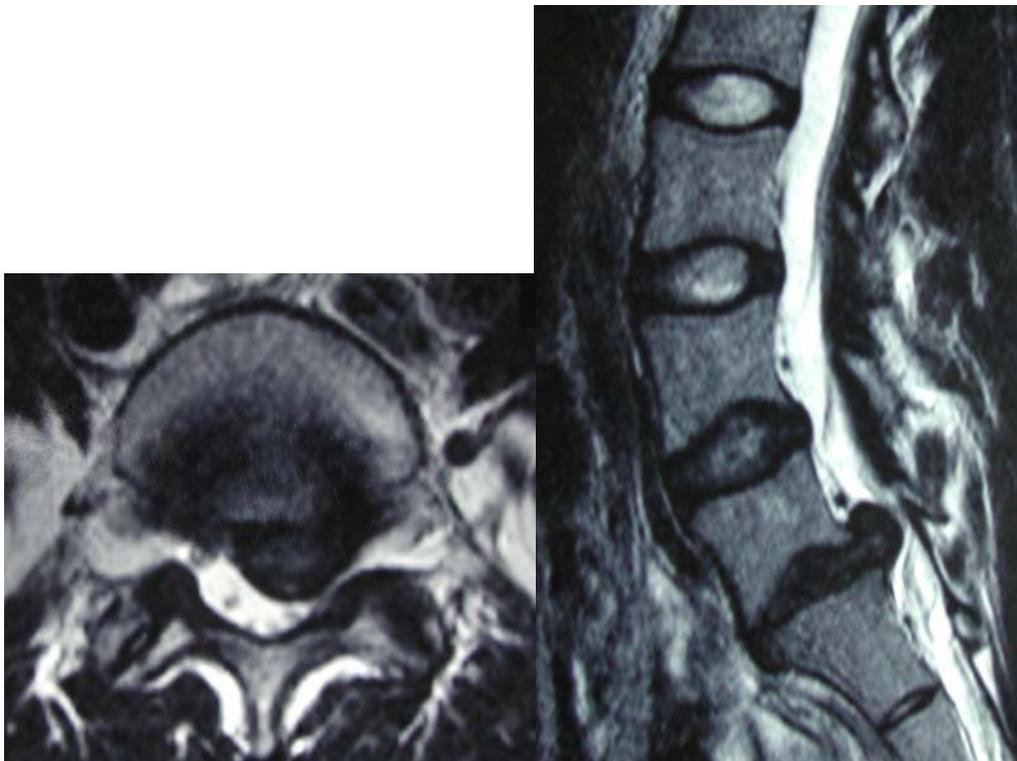


## 腰椎椎間板ヘルニア

腰椎椎間板ヘルニアの模式図



腰椎椎間板ヘルニアの MRI



椎間板は髄核といわれる水分を多く含んだ部分と、線維輪で構成されています。椎間板の年齢的な変化や負担などにより線維輪に裂け目が生じて、そこから髄核が飛び出したものを椎間板ヘルニアといいます。これが神経を圧迫すると、あしの痛みが生じる場合があります。中には、神経の圧迫の程度が強い場合は足の力がはいらない、歩きにくい、稀には大小便を出しにくい、という重篤な症状が発生することもあります。

椎間板ヘルニアは比較的多い病気です。自然に症状がよくなる場合、あるいは保存療法(手術以外の治療方法: 痛み止めの飲み薬や座薬、ブロック注射など)で十分に効果が得られる場合も多く、すべての患者様に手術が必要なわけではありません。しかし、投薬、ブロック注射などの保存的治療で、十分な症状の改善が得られない場合は手術も症状を改善する上で有利な治療法といえます。

手術では、直接ヘルニアを摘出して神経の圧迫が解除されたことを目視確認する、というのが大筋の内容です。早期に痛みを軽減するのに有利な方法です。椎間板ヘルニアの具合も個人差が大きく、診断名が同じであっても適切な対処法は個々に応じて異なります。担当医から詳しい説明を直接受けていただければと思います。術後は痛みの改善や体調がよければ1週間~10日程度で退院となることが多いです。